

即物的なぬくもり、その波及

清水葵衣

満ちている

満ちている

満ち満ちて

満ち足りている

満ち満ちている

満ちている

満ちている

満ち足りている

満ち足りている

満ち満ちている

満ちている

二重になっていく

インディーとディナーショーの間で

隙間の光を

愛しく思いすぎている

優しさには

優しきで返します

柔らかさには

柔らかさで返したい

すりよるマルチーズのように

真っ白い心を

君に渡したい

午後までひきずる眠気と

かわききった喉

指数関数的な

増加

ふえていく

ふえていく

手の内をすべて見せて

皮膚をすり抜けて

二重になっていく

満ちている

満ちている

満ち足りている

満ちている

満ち満ちて

満ち足りている

満ちている

満ち足りて

満ち満ちている

満ちている

満ちている

ふと心がせる

その不可逆さと

その

ほつれや伝線

弛んだ画びょうや

右角のみ剥がれるポスターのような

いくつかの報復を

律儀に拾い上げることで

もの思いを終わらせようとしている

あたりを見渡すと

ベンジャミンからの視線は  
どこまでも遠く

ととのった配置で

美しい体躯で

見る見られます

くぐもる銀に

君はうつらない

うつらない

うつらなくていいのです

綴りがとてもすべらかで

無垢につらなっていく

満ちている

満ちている

満ち満ちている

満ちている

満ち足りて

満ち足りている

満ちている

満ち満ちている

満ち満ちている

満ち足りている

満ちている

はぐくまれて

深まって

その真摯さを享受する

私はおそれず

素早く垂直に潜り込んでいく

丁寧な磨かれたものや

念入りに梳かれたものは

君のために

君のために

この国のために

あるのです

いつだって一杯一杯な私たちは

霧の向こうの刺し傷も

何も分らないで

透きとおった頬杖をつきながら

静謐で平らかなモメント

空間を

まるでそれが敷布であるかのように

泳ぎながら

じっとツキを

見ているのである